



昭和27年1月11日  
第三種郵便物認可第772号  
令和2年1月25日発行  
(毎月25日発行)

# 福祉だより 信州

No.  
**772**  
2020 2月号

よっ! 新風人



## CONTENTS

- みんなで取り組む地域共生・信州 2
- 福祉保険サービス広告 5
- 県社協情報局 6
- おらほの縁パワー活動!・おらほの資金確保術! 7
- よっ!新風人・ざわめくアート 8



ふっころ  
長野県社会福祉協議会  
公益キャラクター



# ONE NAGANOの取組に学ぶ 多機関協働による地域の課題解決

～社協、農協、生協、宗教が繋がった!～



「広がれボランティアの輪」  
連絡会議会長  
同志社大学大学院 社会学研究科  
教授 上野谷加代子氏

開催レポート  
**第3回地域共生社会推進  
長野フォーラム**  
開催日：令和2年2月6日、松本市  
参加者：約300人  
主催：長野県社会福祉協議会

## 基調講演

ボランティア精神が拓く  
地域共生社会

たすけ上手。  
たすけられ上手に生きる

同志社大学大学院教授 上野谷加代子氏

仲間がいるから、心は折れない

私はたすけられ上手です。子育てをしながら働いていた時、地域の商店街の方々にとてもたすけられたという経験からです。皆さんはどんなときにたすけられたか覚えていますか。

社会福祉実践は、自分の理念と現実とがあまりにも乖離しすぎるとしんどくなってしまいます。一人だけ頑張っても後ろも横も誰もいなくなったら孤独感を感じます。孤立はしてはいけないけれど、つらい。災害のときの状況は特にそ

うです。私も阪神淡路大震災以降、全国を駆け回りました。災害支援は泣くことのほうが多く、心が折れそうになります。そうなりながらも決して心は折れない。それは、たすけあう仲間がいるからです。

そういう意味で、私たち自身どんなときに、どこで、誰に、どのようにたすけられたか。その結果どう感じ、どうなったか。社会福祉実践の上で喜怒哀楽の感情を含めてしっかりと自分の体と心に蓄積していくことがとても大事です。そのことが次へのエネルギーになると思っています。

## ボランティアと被災地復興支援活動

日本におけるボランティアは1960年代から様々な民間団体が主導してきた歴史があります。1995年阪神淡路大震災では初めてボランティアをしたという人も多く、行政の補完をし、重要な役割を担いました。2011年の東日本大震災でも多くの災害ボランティアが活躍しました。

被災地支援では、復興のもつ意味は様々です。以前、私は「災害支援ボランティアはコミュニティワークである」と全国社会福祉協議会の手引きに書きましたが、関西学院大学の池埜聡先生は「災害によって翻弄された人生の主導権を被災者に再獲得してもらう支援の総体」と定義しました。私はこの定義が大好きで

す。人生の主導権とは、自己決定権、気づく力、感じる力です。それを再獲得するには、精神的・社会的にも経済復興を含め、一つだけで成り立つものではありません。いろんなことがらに翻弄されている被災者にとって主導権はなにか。現在、来年、5年後の主導権はどうなっていくのか。そうした発想が必要です。

地域福祉視点での災害ソーシャルワークは、被災者に「寄り添う」ことです。伴走型とも言えますが、ここで伴走とは、介入をしながら関わりから降りないということ。伴走と介入の繰り返しです。

## 参加と協働は、越境の練習が必要

地域共生社会に向け、さまざまな参加（参画）と協働による支え合いづくりが私たちの役割です。参加には、社会、経済、政治の3つの参加があります。協働にもいろいろあり、私が好きなのは公民協働よりも市民協働です。民間が協働して力を貯めれば公は必ずこちらを向いてくれる。今回の長野の災害支援は市民協働の最たるものだと思います。

しかし協働は難しいです。ではどうすればいいか。まずは一人の力では無理ということを実感すること。そして連携・協力・協働するための積極的な対話ができるよう練習をすることです。徹底的に相手の懐に入り、相手も入ってきて対話をするから共感が生まれ、協働ができるのです。

## 日本の社会福祉の動向 地域福祉が主流

今、日本の社会福祉の動向は、地域福祉が主流になっています。地域住民に社会福祉とは何かを説明するとき、「幸せ探しと幸せづくり」と言ってください。憲法13条と25条。幸せをつくる権利です。

地域福祉はだれがするか。主体は霞ヶ関の政府ではない。「私」「私たち」がします。だれとするか。あなたと、孫と、隣の人と、行政の職員と一緒に。だれが、だれと、どこで、どのようにするのかにこだわります。どのようには、参加と協働です。そもそも福祉は、古くから民間がやってきました。その後から法律がついてきました。そのことが一番現れるのが、災害支援です。

## ボランティア精神でひたすらなる つながりを

社会福祉は、その人の人生に寄り添うことだと思っています。私たちは一人の人を見守り続けることをそれぞれ分担しているだけです。赤ちゃんを、死にゆく人を、たまたま分担している。だから決して「私はなにその専門ですから」とは、おこがましくて言えません。そして地域の人と一緒に連携をする。それには支える基盤がな

かつたらかなかできません。長野県の基盤は県社会福祉協議会が中心となつてあらゆる団体と連携が始まりました。長野県には人材がいて、可能性がいっぱいあります。これは財産です。志と一緒にしながら、ボランティア精神でひたすらつながる。皆さん方には自己変革とともに、あんな人になりたい、あんな感じでやりたいというロールモデルをつくりながら、次世代へつなぎ、持続可能な社会づくりをしていただきたい。どうぞ「たすけ上手・たすけられ上手」の学びの人になつてください。

## シンポジウム

### 地域共生社会の実現を 目指して

### ONE NAGANOの 実践から

NPO法人さくらネット代表理事の石井布紀子さんのコーディネートにより、今回の台風19号災害でそれ



NPO 法人さくらネット代表理事  
石井布紀子さん  
発災直後から現地に入り、以後も定期的に被災地支援を続け、各団体との連携・協働に尽力されている。

それぞれの現場で支援に取り組んだ4名からの実践報告のもと、シンポジウムを行いました。

## 住民の普段の地域力がカギ 長野市社協における災害支援

長野市は被害が各地区に広がっていたので、それぞれの地域に災害ボランティアセンターの支援拠点（サテライト）をつくることから始めました。私が最初に関わった松代地区では、区長をはじめ住民力を活かしたサテライト運営を行いました。住民のほとんどが壊滅的な被害を受けた長沼地区津野では外部からのいろいろな支援者が一緒に協働しながら行う形を取りました。

依頼があったニーズだけでなく、住民の皆さんの切実な声、思いを受け止めるということに大事にして、積極的に声をかけてすべての家にボランティアを入れることを目標に活動しました。大きな助けとなったのが、NPO、プロボノの人たち。そして、長野大学の学生です。学生は住民の方と同



長野市社会福祉協議会  
生活支援・地域ささえあいセンター  
主任 生活支援相談員  
小野貴規さん  
のべ6万5000人を超えるボランティアが活動した長野市。松代と長沼地区での支援状況を報告しました。

じ目線でフラットにお宅に入っている。そこでのいろいろな気づきを支援につなげました。

単に家の支援だけでなく、その人の生活自体が今後どうなっていくのかを考えながら活動するには、専門職の支援だけでなく、住民の持つ地域力がすごく大きな働きをすることをあらためて感じました。ボランティアの皆さんの力もすごい。これまでボランティアセンターでやってきた人づくりとか「人・もの・こと」を発見するまちの縁側事業が、まさに災害支援のときの力になったと実感しています。今回の実践を振り返ると、社協の役割、使命はすごく大きく、今後地域共生社会につなげていければと思います。

## 賛育会豊野事業所と水害への対応 地域の復興への支援

賛育会はYMCAがつくった組織で、「世界を見つめて地域に生きる」というモットーのもと、様々な地域活動をしており、賛育会の高齢者事業も地域がないと事業が成り立たないこと



社会福祉法人賛育会  
松村隆さん  
長野市豊野地区にある医療・介護施設が床上浸水し、利用者276名の避難救助されるまでの状況、その後事業を再開して、地域への復興支援活動の取り組みを報告。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは  
コチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)  
 損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK19-12918 2020.2.10作成)

令和2年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補基本	1~50名	35,000~61,460円
備A型	51~100名	68,270~97,000円
付見	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
補舞	基本補償(A型)	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
償用	保険料	

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 (引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)  
 損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJK19-14131 2020.2.7作成)

# 「かいごのおにいさん。」動画をYouTubeで発信

## 声優は松本国際高校生が担当!

介護分野の人材不足が大きな課題となる中、改めて「介護の仕事」の魅力を中高生など多くの若者に知っていただきたく、本会では平成27年度から長野県出身の漫画家からけみ氏に依頼し、まんが冊子「かいごのおにいさん。」の制作を進めてきました。今年度はこのまんが冊子の動画化に取り組み、先ごろ完成し動画投稿サイト「YouTube」上で公開を開始しました。

動画化にあたって登場人物の声を担当したのは松本国際高校声優部に所属する現役高校生。若者の視点で介護の仕事を語り伝える機会となりました。

### 1. 「動画が効果的では?!」との声から始まった

本会が事務局を担う「福祉・介護人材確保ネットワーク会議」イメージアップ部会では、「将来を担う中高生、若者に、どうしたら介護の仕事がより良く知ってもらえるか」を考えています。そんな中、部会委員から「今の若者には、紙媒体ではなくネットや動画が効果的では?!」との声もあり、既に作成したまんが冊子「かいごのおにいさん。」を動画化することになりました。

### 2. 声優は松本国際高校声優部の現役高校生に依頼

動画を制作する上で、誰に声の出演を依頼すればよいか、が大きな課題となりました。若者からお年寄りまで様々な世代の登場人物になりきれ声優を様々なルートで探しましたが、若者への福祉の仕事PRという趣旨を踏まえ、これまでも実績のある松本国際高校声優部(松本市)に依頼することとなり、同部顧問の巢山教諭に協力を依頼したところ、快諾いただきました。高校の声優部は県内唯一、全国でも数校しかありません。同部では本格的な機器を備え、部員がネットラジオ「アンブレラジオ」も運営し、全国規模の大会で部員が入賞するなどの実績もあります。



収録前にみんなでウォーミングアップ



自前の機材で音声吹き込み

### 3. いよいよ音声吹き込み開始

あらかじめ松本国際高校声優部ではまんが冊子「かいごのおにいさん。」の読み合わせ後、配役を決定していただきました。決定に際しては部員のサンプルボイスを作画者のからけみ氏にも聞いてもらい選考しました。主役の「有馬巧(ありまたくみ)」を担当したのは、同校1年生の内野あすみさん。他、部員全員の協力で収録は始まりました。

収録第1日目は作画者のからけみ氏も立ち合い、部員たちは厳しくも丁寧なアドバイスを受けました。第1話5分の収録はこの日だけでは終わらず、次の部活時に持ち越し、何とか第1話の収録は完了、その後も松本国際高校声優部では部活の時間に精力的に収録を進めてくれました。

### 4. みんなの思いが詰まった動画が完成!

完成した「かいごのおにいさん。」動画は動画投稿サイトYouTubeの他、本会福祉人材部公式サイト「信州福祉・介護のひろば」や公式Instagram「笑顔を支えるプロになる(egao.pro.nsyakyo)」からもアクセスできます。「将来を担う若者たちに、介護の仕事を知ってほしい…」そんな思いから始まった「かいごのおにいさん。」の制作。その気持ちを受け継ぎ、これまでのまんが冊子に加え、動画も完成しました。声優を担当した部員からは「私も昨年曾祖母を亡くしたこともあり、施設職員の温かさが身にしみた」「介護について知れて、役も演じられて貴重な経験が出来た」「任された役を最後までやり通す心を学べた」などの感想が聞かれました。顧問の巢山教諭は「プロの仕事のように、原作者に会って声の役作りをアドバイスもらえて良かった」「この動画で若者の介護の仕事理解が進むよう期待したい」と話しています。

この動画サイトに一人でも多くの若者がアクセスし、介護の現場を知ってもらい、この仕事に興味・関心を持ってもらえることを願っています。

動画はこちら ▶

YouTube または 検索サイトで

かいごのおにいさん 🔍 検索



# コミュニティスペース にこっと

みんなが“ニコッと”なれる場所があるといいな。そんな想いから、古民家を活用した居場所「にこっと」が誕生しました。地域の方が誰でも、気軽に寄れるコミュニティスペースとして下諏訪町社会福祉協議会が開設しました。



下諏訪町社協  
オルニコットちゃん  
“かつてはオルゴール製造が  
世界一の下諏訪町”



真剣な表情で麻雀をする参加者

「にこっと」は、地域の方々の「集まりたい」「こんなことやりたい」の想いを形にする、お手伝いをしています。現在、体操や手芸、サロンなど様々な活動があります。

今回は毎週火曜に行われている、にこっと麻雀教室「緑一色(りゅういそ)」にお邪魔しました。みなさん真剣な表情で麻雀卓に向かっています。参加している方は「頭の体操になる」「友達ができる」「わからなくても教えてくれるから楽しい」とお話されます。

この場が人や社会をつなぐ接着剤になっています。

「ここは発信基地。ここをきっかけに自分の地区で小さなつながりがたくさんでき、それが連鎖反応を起こせば」と職員の方は話します。実際に「にこっと」でできたつながりが、普段のつながりへと変化していった方もいるそうです。地域にはさまざまな技術や知識を持った人がたくさんいます。手芸が得意な人、よくおしゃべりする人、麻雀が好きな人etc…。

個人的な活動も共有をすることで、つながりのきっかけとなります。つながることで存在を認められたり、褒められたり、それが生きがいになります。そんな一人ひとりの想いを大切に、来た人みんなをオルゴールの音色のように癒し、笑顔にする場所として、「にこっと」はあり続けます。



講座での成果や最新の情報を展示・掲示。  
地域の方々の活動を「見せる」工夫をしています。



# インターネットの仕組みを活用し —NPO法人が「情報発信」で資金・物品を確保—

インターネットを通して資金確保に力を入れる団体「NPO法人信州猫日和」を訪ねました。2017年1月、長野市内に保護猫ハウス信州猫日和をオープン。「飼い主のいない猫が安心して過ごせ、人と触れ合い、飼いたい人が気軽に訪ねられる環境を作りたい」と話すのは代表理事の櫻井志津枝さんです。月に250人ほどの市民が来場します。

開設当初はクラウドファンディングを活用し、持参寄付と併せて約100万円を確保しました。ビルを改装し2階と3階をタテにも猫が行き来できる構造に。

運転資金を調達しようと、来場者に寄付をお願いしています。しかし、保護猫が増え、資金不足に。そんな折、長野県みらいベースが応募する企業からの助成プログラム「とうみHappy Animal's助成金」に出会います。2年続けて8~10万円を得ました。今年度は、エサだけで毎月8万円が必要となり、「寄付者側に税制優遇があるので集めやすい」と、みらいベースの事業プログラムで資金を募りました。

また櫻井さんは情報発信の腕を磨き猫の様子を日々撮影し、ブログやフェイスブックなど4種類のSNSで保護を呼び掛けるなどしています。ユーチューブで動画配信にも力を入れ、ITを駆使して継続的な法人収入につなげようとしています。更に、インターネットのサービス「アマゾンほしいものリスト」を活用し物品も募っています。

「資金確保は常に課題」と話しながらも「猫との触れ合いを通してひきこもりの人たちの働く場としても貢献したい」と夢を描いています。



オリジナルカレンダー2020!1000円(被災者には訪問時に無料で配布)



保護猫たちにエサをやる櫻井さん夫妻(右が代表理事櫻井志津枝さん)



片足のない猫ちゃんなど事情のある猫も

NPO法人信州猫日和 長野市南県町1080 保護猫ハウス信州猫日和内 TEL026-219-2796



フェイスブック



ツイッター



インスタグラム



ライン



ユーチューブ



みらいベース応募ページ



ブログ

# よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい  
風を吹き込むスタッフをご紹介します。

株式会社ツクイ ツクイ茅野 (茅野市)  
機能訓練指導員  
高木広大さん



webでも  
ご覧になれます



機能訓練中にお客様が見せる笑顔は、何よりものやりがいに繋がります。



「福祉に・ずっと・まっすぐ」スローガンのもと寄り添ったサポートを大切にしています。



作品から、お客様の優しさや力強さなど、人柄が伝わってきます。



それぞれの職種や立場から適切な意見をくれ頼りになる仲間たちです。

**誰** もが安心して生き生きと暮らすことのできる社会の実現を目指し、地域に根付いた介護サービスを提供している株式会社ツクイ。現状に満足することなく、さらなる高みを目指し邁進する、機能訓練指導員の高木広大さんにお話をしました。

**Q** 今のお仕事の内容を教えてください。

**A** 高齢になっても、ご自宅で自立した日常生活を送るために必要な心身機能の維持・向上を目指しています。一人ひとりの住環境や健康状態を考慮した目標設定と歩行訓練や筋トレなどのリハビリプログラムを作成して機能訓練を行っています。また、運動会や近隣の飲食店でのランチなど、お客様に楽しんでいただける外出イベントの企画・実施もしています。

**Q** 印象的だったことは何ですか。

**A** 昨年2月の入所時は車椅子だったお客様が、機能訓練でみるみる回復して、現在は四脚杖になったことです。身体能力の向上が難しいと言われていたサービスですが、回復の可能性を見逃さないように、意識して機能訓練をしていくことが大事だと感じました。

**Q** 大切にしていることは何ですか。

**A** 継続して通うお客様も多く長いお付き合いのなかで、生活に寄り添ったサポートを提供できるところがツクイのデイサービスの大きな魅力です。親しくなってもお客様は人生の先輩なので、常に尊敬の念を持って節度ある対応を心掛けています。

**Q** 福祉の道を目指す人へ一言お願いします。

**A** 大変なことも多いですが、自分が真摯に対応したケアや機能訓練には、お客様やそのご家族から感謝の言葉と笑顔がもらえ、とてもやりがいのある仕事です。

人材育成プログラムが充実し、管理職への道も望めるツクイに惹かれて入社した高木さん。上司からも「意欲的に取り組む姿勢を頼もしく感じています。明確な目標を持って、チャレンジ精神で前進して欲しいです」と成長を期待されています。

続きはQRコードからご覧いただけます。

●ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会  
総務企画部 企画グループ  
TEL 026-228-4244  
FAX 026-228-0130  
E-mail kikaku@nস্যakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べんり帖



長野県福祉研修  
実施団体  
きやりあねっと

信州福祉・  
介護のひろば



## ざわめくアート

『電車』 紙、色鉛筆 作者:上條 翼 (かみじょう つばさ)  
21歳 長野市在住



上条さんの作る電車はとても小さい。限界に近いほど小さいサイズの電車を作る。小さいもので幅2ミリ長さ2センチという。紙に色鉛筆でネットで調べた電車の絵を描いて、それを折り曲げて模型のように作っている。『これは?』と聞くと『何線の何型車両だ。』ときっちり答えてくれる。上条さんは電車の何に惹かれるんだろう。なんでこんなにもたくさんの電車を作り続けるのだろう。自閉的傾向のある方で、電車に強い関心を持つ人が多い。電車は決まった時間に決まったコースを正確に自分を運んでくれる、という安心をもたらしてくれるからだろうか? 謎は深い。

(ながのアートミーティング 取材)